

第 66 回日本生理学会中国四国地方会

日 時：平成 26 年 11 月 1 日（土），2 日（日）
場 所：情報通信交流館 e-とびあ・かがわ（香川県高松市）
当番幹事：香川大学医学部自律機能生理学 平野勝也（代表）
香川大学医学部細胞情報生理学 徳田雅明
香川大学医学部薬物生体情報学 小西良士

第 66 回日本生理学会中国四国地方会は、香川大学医学部自律機能生理学が当番幹事(代表)で、平成 26 年 11 月 1 日（土），2 日（日）の二日間にわたって、情報通信交流館 e-とびあ・かがわ（香川県高松市）で開催されました。81 名の参加者のうち 30 名が学生（学部生および大学院生）で、若い力が躍動する学会になりました。合計 32 演題の口述発表があり、様々な臓器の生理現象をミクロからマクロのレベルで幅広く解明しようと試みる研究、さらにはそれらの知見からの臨床応用を目指す研究などについて、活発な討論が行われました。中国四国地方会奨励賞には学生部門 6 演題、一般部門 6 演題の応募があり、それぞれ下記の 2 演題に奨励賞を授与しました。32 演題中 6 演題の発表は学部生によるものであり、これまで中国四国地方会で進めてきた、将来の生理学研究者を育成しようとする取り組みの成果が表れているように感じられました。一日目には評議員会と懇親会も行われました。次回の当番は鳥取大学医学部統合生理学講座にお願いする予定となっています（渡邊達生教授）。

奨励賞（学生部門）受賞者二名（順位なし）

中山 大輝（岡山大学）

藤井 敬也（山口大学）

奨励賞（一般部門）受賞者二名（順位なし）

有川 幹彦（高知大学）

片倉 賢紀（島根大学）

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/exec/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p.24～p.34 をご覧ください。